

8月30日を「針刺し予防の日」に制定

－ 針刺し損傷による血液・体液曝露、ウイルス感染の撲滅を目指して －

職業感染制御研究会(所在・東京大学医学部感染制御学教室内、代表・森屋恭爾)は、医療従事者や患者の針刺し損傷による血液・体液曝露、ウイルス感染の撲滅を目指して、**8月30日を「針刺し予防の日」**に制定しました。

当研究会では欧米の医療施設で取り組まれているような安全器材の導入や正しいトレーニング、教育制度などの法的規制を目指して、さまざまな取り組みを行っています。主には、全国の医療施設でのサーベイランスによる最新知見を、年次総会や講演会、インターネットなどを介して医療現場に情報発信していますが、より一層の活動強化に向けて、年次の活動日を定めることとしました。

「8＝はり、3＝さし、0＝ゼロ」の願いを込めて、毎年8月30日を「針刺し予防の日」と本日この場にて制定させて頂き、本年以降、針刺し損傷による血液・体液曝露、ウイルス感染の撲滅を目指した啓発活動を継続していきます。